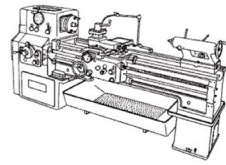
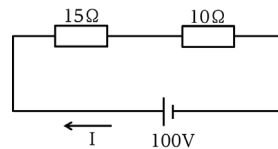


- 1 下図に示す工作機械は、旋盤である。



- 2 ボール盤とは、平面削りや溝削りなどの加工を行う工作機械である。

- 3 下図に示す回路に流れる電流Iは、4Aである。



- 4 三相誘導電動機は、3本の電源線のうち、いずれかの2本の接続を入れ替えても、電動機の回転方向は変わらない。

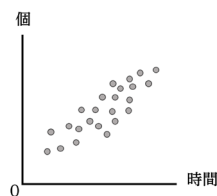
- 5 事後保全は、計画的に設備を停止して、分解・点検・整備をする保全方式である。

- 6 故障メカニズムとは、断線、折損など故障にいたる過程のことである。

- 7 バスタブ曲線は、設備の運転時間と生産量の間係を表すグラフである。

- 8 なぜなぜ分析は、発生した現象を起点として、その現象がなぜ起きたのかを繰り返し調査していくことで、対策を立てる手法である。

- 9 下図に示すグラフは、散布図である。



- 10 作業標準書とは、作業者が作業にかかった時間を、作業のたびに記入するものである。

- 11 アルミニウムは、銅より熱伝導率が小さい。

- 12 ステンレス鋼は、鉄にニッケルやクロムなどを加えたものである。

- 13 金属の熱処理は、加熱温度や冷却速度などを調節することにより、性質や金属組織を改良する加工方法である。

- 14 ボール盤作業では、必ず手袋を装着する。
- 15 5Sにおける整頓とは、必要なものがすぐに取り出せるように、置き場所、置き方を決め、表示を確実にを行うことである。

- 16 ブラシレスモータとは、整流子で界磁方向を切り替えるモータである。
- 17 変圧器は、電動機の過負荷や拘束状態の大電流による焼損を防止するために使用される。
- 18 フィードフォワード制御とは、目標値、外乱などの情報に基づいて、操作量を決定する制御方式である。
- 19 プログラマブルコントローラ(PLC)とは、あらかじめプログラムで設定した手順に従って、機械装置などを自動制御する装置である。
- 20 導線(電線)に電流を流したとき、導線の周囲に発生する磁界(磁束)の向きは、電流の方向に対して右回りとなる。
- 21 原子核は、陽子と中性子で構成される。
- 22 消費電力100Wの電熱器を1時間使用したときの消費電力量は、100kJである。
- 23 論理回路において、入力をA、Bとした場合、「NOR」は、「 $A \cdot B$ 」である。
- 24 検電器は、電路の通電状態を確認する際に用いられる。
- 25 クランプメータは、電流値を測定できる。
- 26 地絡とは、2つの相、または3つの相の線間が負荷を通さずに接触した状態のことである。
- 27 圧着端子に記されている「2-6」は、 6mm^2 の電線を用いて、2mmのねじで取り付けることを意味する。
- 28 アルミニウムや銅は、導電材料である。
- 29 JISにおいて、下図は、リミットスイッチにおけるメーク接点の電気用図記号である。



- 30 JISにおいて、下図は、PNP型トランジスタの電気用図記号である。

